

じゅしゅう

第22回 浄覚寺じゆんせ会 夏の会

七月十七日(日)第二十
二回目となる「浄覚寺こども会夏のつどい」が開催されました。第七波が始まったと言われていますが、感染防止対策を整えて、楽しい時間を過ごしました。

まずはお勤めと仏さまのお話を聞きます。子供たちにお伝えさせていただいたご法話を少し紹介させていただきますましょう。

最近悲しいニュースが続いています。安倍元首相が襲撃された事件、ロシアとウクライナとの戦争など、人が人の命を奪つというあり得ない現実を聞く心苦しくなります。人が人を殺してはいけな

い、こんなことは誰もが知っているはず。いつの日か世界中が平和で安心して生活できる世の中になることを願っております。

けれど、人じゃなければいのちを奪つていいのでしょうか。私たちは毎日食事をいただきます。動物である植物であれ、私たちが口にするものはすべていのちです。いのちが生きていくためにはいのちを食べなければなりません。

「いただきます」の挨拶があります。私は三つの有難うという意味があると思っています。まずはその料理を作ってくれた人に有難うです。心の中では思っ

第40号
(通算380号)

発行元
浄土真宗本願寺派
吉富山 浄覚寺
大阪市平野区
長吉長原3-1-10
06-6790-8350

浄覚寺ヨガ教室

- ・9月21日(水) 10時~11時半
- ・参加費500円
- ・浄覚寺本堂にて

☆皆さま、お誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。

ても言葉では伝えていないことがあるかもしれません。当たり前ではありませんから言葉で伝えることは大切なことです。

次は、お米や野菜を育ててくれた人、魚を捕ってくれた人、運んでくれた人、売ってくれた人。気にしたことはないけれど、たくさんの人が関わってくれて料理が目の前の食卓に届きます。目に見えていない人へも有難うの気持ちを持たねばなりません。

最後は、目の前に



並んでいるそのいのちたちに有難うです。どんなのちであれ、決して私たちに食べられるために生まれてきたいのちはありません。家族がいて、友達がいて、自然の中で一生懸命生きていたでしょう。けれども、私たちも生きていくためにいのちをいただきます。食

煩惱にまをさへられて

摂取の光明みざれども

大悲ものうきことなきて

つねにわが身をてらすなり

『高僧和讃』



仏教語辞典



有為転変は世の習い

有為はさまざまな「因」と「縁」によって生じた現象のことで、常に消滅し、固定的ではないものである。転変は「変化すること。有為転変は世の習いとはことわざであり、「この世がひと時も同じ状態ではなく、移り変わることは世の常である」という意味。私たちは、すべてが移り変わって

『気になる仏教語辞典』
著・麻田弘潤 誠文堂新光社
仏教にまつわる用語をイラストとわかりやすい言葉で読み解かれています。ぜひお買い求めください。



べてはいけないというわけではありません。これもまた決して当たり前と思うのではなく、おかげさまという感謝の心を持ち、無駄にしようとするのをなくし、そして、「あなたのいのちを、いただきます」という有難うの挨拶をするのです。ついつい忘れてしまいうすいそんな心を、食前食後の挨拶を通して気づかされるのです。おかげさまの心を忘れずにいてほしいと

いう阿弥陀さまの願いを「いただきます」の挨拶を通して伝えさせていただきました。

続いては制作です。今回はプラ板を使ってキーホルダーとマグネットを作りました。それぞれが持ち寄ったお気に入りのキャラクターを写し絵して、色を付けてトースターで焼きます。ご存じかと思いますが、プラ板は焼くとすごく縮みます。始めて見た子も多かったように、歓声が凄かったです。

その後はビンゴ大会で遊びました。それも普通の数字でするビンゴではなく、野菜や果物などテーマを決めて、自分で書き込んで作

る、オリジナルビンゴです。「好きなおかず」が問題の時には盛り上がりました。景品はありませんが「皆の前で当たる」という経験は嬉しいものですね。

あまりに盛り上がりましたので、予定時間を少しオーバーして閉会式を行い、子ども会を終わりました。例年夏の子ども会では流しそいうめんが中心でしたが、できないと言つて憂うのではなく、できることを喜びたいと思ひ、そんな気持ちで取り組みました。無事に開催できて良かったです。

「御文章に聞く」は
お休みさせていただきました。

行事案内

日時・八月十五日(月) 十時のみ
行事・午前十時(撮影での生配信法要です)

孟蘭盆会並びに 門信徒総追悼法要

(インターネットでお参りいただけます)

法要導師、法話 当山住職 釋法道

場所・長原浄覚寺 詳細は別紙にて

※新型コロナウイルスの影響により、大阪に「医療非常事態宣言」が発出されるとともに高齢者へ不要不急の外出を控えるよう、知事からメッセージが出ましたので、午後二時から法要は中止とします。

(なお、当日のお参りはお休みをさせていただきます)

八月十五日、孟蘭盆会のご法要は従来の法要に変えて、インターネットから参拝ができるよう、YouTubeでの生配信法要を試みたいと思っております。また、皆さまからのご要望にお応えして、門信徒総追悼法要の中で故人のご法名を読み上げ、偈はせていただきながら、この度の法要をできるだけ身近なものと感じていただきたいと思います。詳細をご覧いただき、ぜひお申し込みください。

編集後記

今月も「じゅごう」をお届け致します。行事案内に書けませんでしたが、九月は二十三日の彼岸中日に赤井智顕先生をお迎えしての秋季彼岸会を予定しております。

八月十五日のインターネット生配信法要のこと、わからないことはいつでもお尋ねください。いるのに、過ぎ去った事象を今に照らし合わせ、そのギャップに苦しむのである。(釋法道)